



車椅子1台が今年目標

月1回、アルミ缶や使用済みテレカを集めています。チラシを利用し、委員みんなで全校に呼びかけもしました。がんばったかいあって、今年は念願の車椅子を1台プレゼントできました。小さな積み重ねがこんな大きな力になるなんて驚きました。



老人保健施設「桜の園」へ車椅子を贈った桜小ボランティア委員会のみなさん

花と緑が豊かな街へ

植物も人間と同じ。水、空気、適温、日光、そして愛情が必要です。地域と一体となって花と緑があふれる環境づくりにお手伝いしたいですね。最近、人気のガーデニングで相談も急増中。電話での相談は、症状をできるだけ詳しくお話しください。



花と緑の相談所の樹医、今野照夫さん(69歳・左)と柳原喜久雄さん(69歳)

おしゃべり

かわらばん

有権者の自覚を持って!!

選挙に関心を持ってもらおうと街頭でチラシを配るほか、町内会やサークルでも選挙の話題を出します。4月は2つの選挙が控えています。投票することが自分の生活に密接に関わることを意識して、若い人にもどんどん足を運んでほしいものです。



秋田市明るい選挙推進協議会の金子清美さん(左)と飯塚幸子さん



ひと

3月9日の朝、雪道に気を引き締めます

交通おじさんともいっしょのかな(笑)

泉小学校近くの大通り。毎朝、通勤・通学でたくさんの人と車が行き交う道です。「おはよう、今日は寒いね。滑るから気を付けて」「よし、左右を確認して渡ってね」。登校時間になると、横断歩道のある交差点で子どもたちに元気な声をかける押見清さん(75歳・泉字上ノ町)。かれこれ四十年近くの間、交通安全おじさんが続けています。

押見おじさんの始まりは、PTAの校外活動。息子さんが小学校に入学した当時、その学校で登校中の児童が交通事故で亡くなるという悲しい出来事があり、いつの頃からか、通学路に立つ子どもたちの安全を確認するのが毎朝の日課になったそうです。

泉地区で交通指導をする 押見清さん

「誰かに頼まれたというわけではないのですが、どうしても子どもたちのことが気がかりで…。子どもは夢中になると周りが全然見えなくなるんです。長年子どもたちの様子を見ていた私でさえ、予測のつかない動きをします。ドライバーのみなさん、子どもを見たら要注意です」。スポ少で柔道も教えているという押見おじさん。さすがに、雨や雪の日には、その大きな手がかじかむこともあるそうです。

二十年前に警察署長さんから頂いたという「横断中」の黄色い旗と、押見おじさんの大きな手。今日も子どもたちの安全を守ります。

広報クイズ⑧

答えは3月12日、26日の「広報あきた」の記事中に。

- 4月は選挙が2回行われます。4月11日は県議会議員選挙、4月25日は?
- 覚えていてください。4月から広報あきたのサイズが 判に変わります。

応募方法 はがきに答えと住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、4月9日(金)(必着)まで、〒010-8560秋田市役所広報課へ。☎(866)2034

前回のクイズの答えは、問1が「地域振興券」、問2が「ペットボトル」でした。全問正解394通の中から、当選した小林勝男さん(外旭川三千刈)、佐々木悦子さん(新屋日吉町)、信太睦生さん(下北手松崎字大沢田)、進藤政吉さん(仁井田目長田一丁目)、曾根佳子さん(仁井田新田二丁目)の5人には図書券をお送りします。

読者の伝言板

クイズの答えと一緒に、ほのぼのとした“ひとこと”を、お待ちしております。

僕に来る地域振興券を何に使おうか、母に相談中です(大井健太郎 11歳・牛島)

我が家の地域振興券は二人分。子どもたちはおもちゃをねらっているようです(戸沢早苗 31歳・牛島) ペットボトルが形を変えているいろいろな製品に再生出来るとは知りませんでした。貴重な資源として大切にしたい(柿崎八重 67歳・泉) ペットボトルは一日一本のペースなので再利用できるよになつてよかったです(智田昌子 33歳・新屋) 共稼ぎの我が家。最近はおみ出しも手伝ってくれる夫ですが、分別に四苦八苦の様子。ペットボトルの分別もがんばって(成田小枝子 30歳・仁井田) 6か月の息子はよく「人間カイト」と、みんなにだっこされます。暑い夏になつてもだっこされているかしら(小林香織 30歳・川元) 「雪がとけてきたねえ。春になるねえ」と私。二歳の息子は「雪さんおうちへ帰れるんだねえ」(久保田康予 39歳・南通) 就職が決まった姉が山形から猫と一緒に帰ってきました。大好き猫嫌いの父は「あいつが帰ってくるのは嬉しいけど猫はなあ」と複雑らしいです(折田純子 21歳・飯島) 育児情報がかさず見えています。八月から仕事復帰のため娘は保育園へ。四月から延長保育も取り入れるそうです(助かります(鈴木貴子 26歳・手形) 敬称略)

係からひとこと

タブロイド判の広報あきたが最後となる今回、広報クイズには、三九七通というまだかつてないたくさんのご応募がありました。青いインクの広報あきたが、大勢の市民のみなさんに親しんでもらっていること、あらためて実感。そして、A四判の新しい広報あきたが、今よりもっと親しんでもらえるものになるよう、スタッフ一同気持ちを引き締めています。

不安もありますが、思い切った踏み出した先には、新たな出会いが待っているはず。市政と市民のみなさんとのよりよい関係のお役に立てるように、新コーナーをはじめ、紙面の充実にも頑張っていきますので、四月からA四判に変わっても広報あきたをどうぞよろしくお願ひします。(茶田)